

「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成28年5月11日(水)発行

目次

- 1 会津地方推進本部長のあいさつ
- 2 頑張る農業者の取組紹介
- 3 会津農林事務所の取組紹介
- 4 研修・イベント情報



「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

会津地方推進本部長(会津農林事務所長)のあいさつ



福島県会津農林事務所
所長 伊藤 純一

本年4月1日より、会津地方推進本部長(福島県会津農林事務所長)に就任いたしました伊藤純一です。よろしくお願い申し上げます。

皆様には日頃、会津地方農林水産業の振興に多大な御尽力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

さて、東日本大震災の発生から5年余りが経過しましたが、原子力発電所事故に伴う一部品目の出荷制限や風評などが根強く残っていることに加え、農業従事者の高齢化や担い手の確保といった課題も多く、本県の農林水産業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような逆境を乗り越え、ふくしまの将来を担う子どもたちに「食」と「ふるさと」をしっかり引き継いでいくため、県では「ふくしま農林水産業新生プラン」を作成し、重点的・戦略的に取り組むべき施策を示しております。

会津地方においても平成25年12月20日に「食」と「ふるさと」新生運動会津地方推進本部を設立し、生産から流通・消費に至る様々な立場の人々が一体となって「食の安全・安心運動」「生産再生運動」「風評払拭・消費拡

運動」の4つの取組を進めているところです。

昨年度は関係団体の皆様の御協力により、農林水産物のモニタリング検査や、小学生の親子を対象とした安全・安心実感ツアーの実施、食農教育や風評払拭に向けたイベントなど様々な運動を実施してまいりました。

本年度は新たな復興のステージとなる「復興・創生期間」の1年目にあたり、さらなるステップアップができるよう努めてまいります。

豊かな自然に恵まれ、おいしい農畜産物が生産されるここ会津地方は、本県農林水産業の要であり、関係機関・団体の皆様とともに連携しながら、実りのある運動を展開し、ここ会津地方から本県の復興と発展を全国に発信してまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

頑張る農業者の取組紹介

本当の鶏肉の味を届ける会津地鶏の生産

三島町 小平 和広さん

大沼郡三島町の「有限会社会津地鶏みしまや」代表取締役の小平和広さんの取組を紹介します。

小平さんが代表取締役を務める有限会社会津地鶏みしまやは「本当の鶏肉の味」を目指し、会津地鶏の飼育と食鳥処理、販売を行っています。

小平さんは東京農業大学畜産学科を卒業後、地元の三島町で造園業を営んでいましたが、平成16年度に三島町が国庫補助事業を活用し食鳥処理場を建設する際に、施設の指定管理者になることを依頼されたのを契機に、会津地鶏みしまやを設立しました。



小平 和広さん

設立当初は仕入れた会津地鶏を処理・販売するのみであったため、処理羽数は150～200羽／月ほどでしたが、平成20年からは施設を借りて自社で飼育を開始させたことで年々羽数を増加させていきました。その結果、現在の処理羽数は1,200羽／月(年間14,400羽)にも上り、その全てが販売されています。出荷は約6割が関東方面、次いで会津管内、中通り、いわきと続きます。地元のリオンドール、JA会津よつば農産物直売所「まんま～じゃ」、道の駅みしまなどでも販売されています。

会津地鶏みしまやでは、会津地鶏専用の飼料に会津産のくず大豆を混ぜて与えたり、冬場は地鶏のストレス軽減を図るため会津産のりんごを丸ごと与えたりと、会津地鶏の美味しさを引き出す様々な工夫をしています。

また、鶏糞や食鳥処理の段階で出る残さを堆肥化させ、地元会津の農家に肥料として提供するなど、地域に根ざした循環型の産業の実現に向けた取組も積極的に行っています。

○課題、今後の目標

会津地鶏のPRをもっと拡大させ、「会津地鶏」という名前を今以上に売っていきたい。またその大きな目標に向け、さらなる顧客の獲得はもちろん、鶏舎を拡張するなどして現在の2倍規模の会津地鶏の飼育・処理を行っていきたい、と話してくださいました。

○小平さんからのメッセージ

会津地鶏は脂の甘みと肉のうま味がバランスよく、適度な歯ごたえなので、是非一人でも多くの方に召し上がっていただきたいと思います。



会津地鶏

○会津地鶏とは

古来より会津地方の農家の庭先で飼育されてきた地鶏です。黒く長い尾羽をもつが特徴であり、その羽は春の彼岸に舞われる「会津彼岸獅子」の飾り羽に使用されるなど会津の人々に古くから親しまれてきました。昭和62年に県の養鶏試験場で県固有の種であることが確認されて以降、肉用鶏としての改良が本格化したことで現在流通・販売されるまでに至っています。会津地鶏の肉は、コク・旨みに優れ、様々な料理に適しています。また鶏特有の臭みがないため、和風・洋風を問わずどんな料理にも合います。

会津農林事務所の取組紹介



○ 6次化商品支援事業テストマーケティングを開催しました

会津地方6次化商品づくり支援事業の一環として、3月6日、道の駅あいづ 湯川・会津坂下においてテストマーケティングを開催しました。

当事業では、応募のあった6次化商品を対象に、年間をとおして求評会を実施してきました。応募者は、求評会で得られたアンケート結果や専門家のアドバイスを基に自身の6次化商品の改良・改善に取り組んできました。それらの6次化商品を対面販売し、出展事業者自らが消費者の反応を確認し、消費者の生の声を踏まえた更なる商品改良につなげてもらおうと、テストマーケティングを開催しました。

以下の事業者の方々が出展しました。()は出展商品名。

- 会津若松市 農家民宿 穂多瑠(にしんの味噌煮)
- 猪苗代町 志賀米店(会津そばドレッシング)
- 喜多方市 農家レストランけやき蔵(立川ごぼう団子)
- 下郷町 戸赤村づくり実行委員会(花豆パイ)

テストマーケティング当日は天候にも恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。各商品とも、約300食用意した試食は全て提供し終え、大盛況でした。

出展者は、来場したお客様の生の声を聞くことで自身の6次化商品の改良・改善のアイデアを得たようでした。また、「美味しい」、「以前購入したことがある」などの声もあり、自信に繋がったようでした。

会津農林事務所では、今年度も6次化商品づくり支援事業等をとおして、会津地域6次化商品の更なる磨き上げを支援していきます。



テストマーケティング会場



テストマーケティングのようす

【企画部】

○ 会津地方防霜対策本部を設置しました

会津農林事務所は、農作物の凍霜害を未然に防止し、農業経営の安定を図るため、4月1日から5月31日までの期間、福島県会津地方防霜対策本部を設置しています。

4月8日(金)には平成28年度会津地方農業災害対策担当者会議を開催し、今年度の防霜体制や農作物の気象災害防止対策、農業災害関係事務等について東北農政局や各市町村、JA、農業共済組合と情報共有を行い万全の体制を確認しました。

【農業振興普及部】



会津地方防霜対策本部設置

○山火事防止パレードを実施しました

会津地方山火事防止地区連絡協議会主催による山火事防止パレードが4月18日、4月20日、4月27日の3日間にわたって管内一円で行われました。平成28年全国山火事予防運動統一標語「誓います 森の安全 火の始末」を合い言葉に参加車両延べ51台、95名が参加し、山火事予防を訴えました。

道路をパレードするだけではなく、スーパーや道の駅などでチラシや花の種などを配布し、直接山火事予防のPRを行いました。会津地方で山火事の発生は年間平均6件ですが、昨年は14件と多く発生したため1件でも少なくしたいと熱のこもったPR活動を行いました。

【森林林業部】



山火事防止パレード出発式の様子

研修・イベント情報

○「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県産農林水産物の消費拡大と地産地消の推進を目的にキャンペーンを実施します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日時：平成28年5月14日（土）

11：00～（試食・プレゼントがなくなり次第終了します。）

場所：道の駅ばんだい エントランスホール

耶麻郡磐梯町大字磐梯字十王堂38番地

内容：山際シェフ特製！会津産アスパラガス料理の試食（先着200名様）

アンケート回答者へ6次化商品等プレゼント（先着200名様）



【企画部】

事務局では、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」会津地方かわら版に掲載する情報を募集しております。掲載を希望する情報がありましたら、下記の【ご意見・お問い合わせ】の連絡先までご連絡ください。

○掲載内容

- ・「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」で展開している4つの運動（「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」）の取組について
- ・復旧・復興に関するトピックス、イベント情報、旬の話題、オススメ情報、その他広くお知らせしたい情報

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局

（福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内）

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号（会津若松合同庁舎2階）

TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

